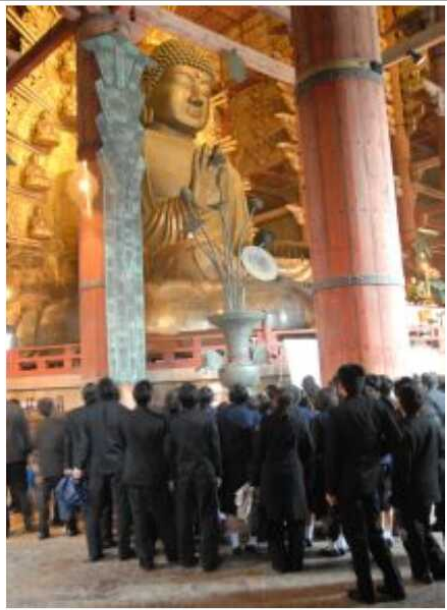


青き楓

島高だより
H19第4号
通巻第22号
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

（歴史・文化に感動し、たくさんの研修も充実！） 修学旅行



第二学年主任 酒井俊治

十二月二日から六日まで、六十一回生が四泊五日の修学旅行に行ってきました。初日は新門司港へ



向かう途中で、一・二組は熊本広域防災センターと太宰府、三組は九州国立博物館と太宰府、四・七組は福岡県青少年科学館、五・六組は玄海エネルギーパークとクラス毎に研修先に立ち寄りしました。二日目は大阪城で朝食を取り、奈良公園で専用ガイドの案内による約二時間の研修を行いました。あいにく小雨でしたが紅葉も美しく、南大門や大仏の巨大さに圧倒されながら、専門的なガイドさんの話にも聞き入っていました。午後はタクシーに分乗して、京都班別研修を行い



ました。見学コースは班員の希望で決めましたが、タクシー運転手のガイドも付き、充実した京都観光を楽しめたようです。なんと、二十二カ所も見学した班がありました。清水寺の紅葉は私達の訪問を待ち構えていたかのように綺麗でした。三日目は新幹線で東京へ移動しました。移動途中で車窓から見た富士山がとてきれいでした。東京駅からデイズニールンドへの移動途中で「皇居」国会議事堂↓お茶の水・本郷地区の大学通り↓浅草



最終日はクラス別の見学コースになりましたが、浅草寺では全クラス集合写真撮ることが出来ました。この日も、中腹まで冠雪した富士山はとて美しく感動的でした。期間中、その日の研修内容をまとめるレポートを毎日課しましたが、宿舎ではレポート作成に励んでいました。



寺雷門前」と車窓見学をしました。そして、デイズニールンドは思い思いの楽しみ方で十分に満喫したようです。ホテルへの移動はレインボーブリッジを経由し、世界的にも名高い「東京の夜景」は最高でした。

四日目は今回のメインイベント、企業訪問と大学訪問です。都内班は企業と大学、筑波班は企業（研究所）を二カ所訪問しました。今回の訪問のために特別に資料を作っていたいただいた訪問先や大学も多く、社会人として対応していただいたことに感動したり、普段目にするのではない仕事の「現場」を垣間見て、驚きと共に働く厳しさも感じたりしたようです。天候には恵まれたものの、都内班では企業から大学への移動は大変で、待ち合わせに間に合うため必死だったようです。

校長室から

柳川 伸一

秋の訪れは遅かったように思いますが、今年の学校正門前の楓の紅葉は例年になく見事なものでした。青き楓たちの将来の成長を象徴しているかのような光景に眼を細めた秋も過ぎ、寒風の吹く季節となりました。二年生の修学旅行は、一人の病人を出すこともなく充実した研修を終えて、先日帰ってきました。数々の体験を通して、生徒たちは今後大きく成長してくれるものと思います。森嶋通夫氏は「人間は多くの体験を通して、それを経験に変えてはじめて成長していきます」とある書物で記しています。読書というものは様々な体験を通して、自己の中の感性や理性を通して

事故も病人もなく無事に研修を行えたことが何よりです。この修学旅行で体験したことを、今後の学校生活や進路選択に役立てて欲しいものです。

★生徒アンケートから「とてもよかった」+「よかった」パーセント

- ◇九州内のクラス別研修 87.7%前後
- ◇奈良公園 96.6%
- ◇京都タクシー研修 95.2%
- ◇東京デイズニールンド 95.5%
- ◇企業大学研修 82.5%
- ◇研修先の事前研修 88.8%

★修学旅行後、訪問先の企業へお礼状と併せて生徒達のレポートと感想文を送付しました。また、企業や大学には訪問受け入れに対してのアンケートをお願いしています。この結果は、今後の指導に役立てていこうと考えています。



「火山都市国際会議 島原大会」に参加！

理科科主任 片山泰成

去る11月22日(木)、アジア初の開催となった「火山都市国際会議島原大会」に理科科一、二年生が参加しました。当日は、朝から夕方までの丸一日、学術的な発表を聞いたり、防災についてのフォーラムに参加したりしました。

また、ポスターセッション(一般の部)には、二年生の「水質班」「植生班」が二枚のポスターを作成し出展しました。ポスターの内容は、噴火被災地にどのような植物が繁殖してきたかという植生調査の結果と、火山の周辺環境への影響を川の水質調査を通して考察したものです。国際会議ということで、ポスターも説明も全部英語でしたので、毎日が英語との格闘でした。

頑張った甲斐あって、外国人の方にも研究の内容がうまく伝えられたのではないかと思います。本当にいい経験をさせていいただきました。

【裏面へ続く】



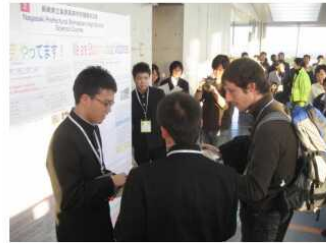
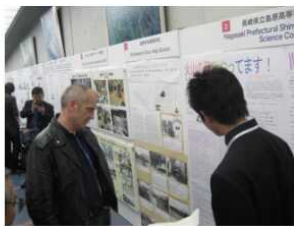
これからの主な行事予定

- 12月**
 22日(土) 冬季補習(3年のみ)
 25日(火) 授業設定日(～26日(水))
 27日(木) 冬季補習(～28日(金))
 29日(土) 3年プレテスト(～30日(日))
- 1月**
 2日(水) 3年Z会プレ(～3日(木))
 4日(金) 冬季補習(3年)(～7日(月)) <6日(日)は除く>
 8日(火) 始業式・校内実力(1・2年)(～9日(水))
 12日(土) 土曜講座(1・2年)
 3年プレテスト(～13日(日))
 19日(土) 土曜講座(1・2年)
 大学入試センター試験(～20日(日))
 26日(土) 1・2年県下一斉模試
 29日(火) 校内マラソン大会
- 2月**
 1日(金) 高校入試(推薦)
 2日(土) 土曜講座(3年)(記5)(～3日(日))
 2年進研(記3)
 9日(土) 土曜講座(3年)
 1年ハイレベル模試
 2年トップレベル模試・公務員模試
 16日(土) 土曜講座(全学年)
 21日(木) 1・2年学年末考査(～26日(火))
 25日(月) 3年国立大学前期試験(～26日(火))
 27日(水) 代休(3月1日分)
- 3月**
 1日(土) 式典
 3日(月) 第60回卒業式(～9日(日))
 8日(土) 2年進研模試(～10日(日))
 11日(火) 3年校自習(～13日(木))
 12日(水) 3年国公立大学後期試験
 15日(土) 土曜講座(1・2年)
 19日(水) 高校入試合格発表
 21日(金) 高校入試合格発表
 24日(月) 登壇式
 25日(火) 登壇式

〔生徒の感想〕

原田 創(水質班班長)
 僕たちが生まれた年に普賢岳が噴火し、今年、地元の高校生として国際会議に参加できたことに何か運命的なものを感じました。大きな成果として、高校生が地元の素材(普賢岳)を使い、研究をしているということ、世界各国の火山学者の方々に発信できたということが挙げられます。このような貴重な体験を通して学んだことは今後の生活の中で重要な役割を果たしてくれたいと思います。

久保 歩美(植生班班長)
 発表の準備はほとんど初めてのことで遅くまで残って頑張りました。当日は使い慣れない英語に戸惑いましたが、何とか相手に伝えることができました。今回のことは貴重で尊い経験になったと思います。



部活動の主な成績 (十月～十一月)

ソフトテニス部

長崎県高等学校新人体育大会(10/21)
 男子団体 **優勝**
 個人戦 **九州大会出場**
 男子 松本・佐藤組
 女子 森塚・松本組



剣道部

中地区新人体育大会(10/21)
 男子団体 **優勝**
 男子個人 **優勝**
 女子団体 **優勝**
 女子個人 **準優勝**
 小森敏也
 甲斐勇太
 渡邊孝士郎
 小森田 渚
 吉田あやか
 平石ゆい子



長崎県高等学校新人体育大会(11/18)

男子団体 **優勝**
 男子個人 **優勝**
 女子団体 **準優勝**
 女子個人 **優勝**
 小森敏也
 甲斐勇太
 小森田 渚

バレーボール部女子

中地区新人体育大会(10/21) **第三位**

バスケットボール部女子

中地区新人体育大会(10/21) **第三位**

レスリング部

第62回国民体育大会(10/5～8)
 96kg級 **第三位** 村上貴之
 84kg級 **第五位** 岩永義成
 長崎県高等学校新人体育大会(11/11)
 団体戦 **優勝**
 個人戦 **優勝**
 吉田拓郎
 本多孝純
 伊藤 駿
 陣野周作
 岩永晃範
 鹿取京平
 村上貴之
 松尾耕大
 馬場貴大
 松坂鴻晟



体操部

長崎県高等学校新人体育大会(11/11)
 男子団体総合 **第二位**
 女子団体総合 **第二位**

合唱部

第17回日本クラシック音楽コンクール地区本選会(10/7)
 優秀賞 本多志織

放送部

九州高校放送コンテスト 中地区大会(10/21)
 アナウンス賞 川村祥代・佐藤綾子
 朗読賞 優秀賞 江川実里・吉田桃子

文芸部

長崎県高等学校文芸コンクール 第24回中地区高等学校演劇発表会(10/21)
 朗読賞 優秀賞 渡邊はるな
 詩賞 優秀賞 吉田桃子

写真部

長崎県高等学校総合文化祭県央支部 第19回合同写真展(11/11)
 最優秀賞 大野彰子
 優秀賞 増田祥子・松本麻綾
 優良賞 深松柚子・田浦栗弥

囲碁

全九州高等学校囲碁選手権大会 福岡大会(11/11)
 男子団体 **第四位**

受験本番に向けて

第三学年主任 釘島正智
 六〇回生の進路実現に向けた奮闘も終盤に差しかかってきました。気温の低下

に同調したかのように真剣さも一層増し、放課後の職員室には質問や添削で指導を受ける生徒の姿が絶えません。十一月の模擬試験ラッシュを終え、これから数回のプレテストを交えながら、それぞれの本試験に向けて再度力を蓄える期間に入っています。ここで大切なのは、焦って演習ばかりせず自分の仕上がり具合に応じた学習をすることです。すべてを学習し直すことはできないと知り、確実なものを少しでも増やしていくのみです。すでにAO、推薦、就職等で進路が確定した生徒もいます。街頭募金に参加するなど今できる貢献をしながらも、「団体戦」の一員として、最後まで島高生として生活と学習の両面に頑張るといふ形で他の生徒を応援してくれています。受験を残した生徒は精神的にも苦しい時期です。ちよつとほつとして、また頑張ろうという気になれる、そんな場所もどこかあるとよいですね。

「水をやり、ローラーをかけなさい」

第一学年主任 吉田英雄
 伝統あるイギリスのケンブリッジ大学のトリニティー・カレッジを見学に来たアメリカの富豪グループは、あまりにも見事な芝に感心し、近くにいたみすぼらしい園丁に芝生の手入れの秘訣を聞いた。一言、「水をやり、ローラーをかけなさい。」チップが少ないからと思い、再びチップを渡して聞くと、「水をやり、ローラーをかけなさい。」と、全く同じ返事。頭にきて、再度チップを渡して聞くと、「水をやり、ローラーをかけなさい。」そうして五〇〇年経つと、こうなるのだ。「実は、このみすぼらしい園丁は、ノーベル物理学賞を受賞したこのカレッジの校長のトムソン教授でした。(実話) 何事も「継続は力なり」です。また、百有余年の伝統を誇る島高もこのように築かれたのだと思います。その島高に誇りを持てるような生徒達であって欲しいと願います。 新たな決意・覚悟をもって、新年を迎えましょう。